

- 問1 明治政府は、近代的な国家運営のための安定した税収を確保することを目的として、地租改正を実施しました。この際、政府が土地の価格（地価）を定め、その所有権を正式に認めるために土地所有者へ発行した証書を何といいますか。 （2022年 福岡県公立入試 類似）
1. 地券 2. 惣 3. 検地帳 4. 口分田
- 問2 明治新政府が発表した基本方針である五箇条の御誓文の第一条には、「広ク（X）ヲ興シ、万機（Y）ニ決スベシ」という一節があります。当時の史料に基づき、空欄（X）と（Y）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 （2018年 熊本県公立入試 類似）
1. X：政党、Y：国会 2. X：文明、Y：教育 3. X：民撰議院、Y：選挙 4. X：会議、Y：公論
- 問3 明治初期の政府内では、日本との正式な国交を拒んでいた朝鮮に対し、武力を用いてでも開国を迫るべきだとする主張が生まれました。この主張を何といいますか。 （2017年 千葉県公立入試 類似）
1. 尊王攘夷 2. 文明開化 3. 地租改正 4. 征韓論
- 問4 1870年代の日本において、朝鮮に対して武力による開国を主張する意見が退けられた結果、当時の政治状況にどのような影響を与えましたか。その後の展開として正しい説明を選びなさい。 （2023年 石川県公立入試 類似）
1. 岩倉使節団の帰国組と留守政府組の妥協案として、蝦夷地の開拓に力を入れる「屯田兵」の制度が即座に廃止された。 2. 政府の方針が武力行使に一本化され、直ちに清との間で日清修好条規を締結し、共同で朝鮮への進出を開始した。 3. 主張が認められなかった西郷隆盛や板垣退助らが政府を去り、のちの不平士族の反乱や自由民権運動へとつながった。 4. この対立をきっかけに、明治天皇による「五箇条の御誓文」が発布され、議会政治の早期実現が約束された。
- 問5 明治政府は近代国家の建設を進める中で、1872年に琉球藩を置き、1879年には武力を背景にこれを廃止して新たな県を設置しました。この一連の政策を「琉球処分」といいますが、このとき設置された県として正しいものを選んでください。 （2017年 北海道公立入試 類似）
1. 沖縄県 2. 山口県 3. 鹿児島県 4. 長崎県
- 問6 明治政府が近代国家建設の財源を安定させるために行った税制改革において、それまでの江戸時代の年貢制度と比較したときの特徴として正しい説明はどれですか。 （2026年 福島県公立入試 類似）
1. 基準を収穫量から地価に変更し、納める方法を現金から米に改めた。 2. 基準を収穫量から地価に変更し、納める方法を米から現金に改めた。 3. 基準を土地の面積から収穫量に変更し、納める方法を米から現金に改めた。 4. 基準を土地の面積から地価に変更し、納める方法を現金から労働力に改めた。
- 問7 1868年は、江戸幕府が滅亡し明治政府が樹立された「明治元年」にあたります。この1868年は西暦で何世紀に含まれますか。 （2019年 福島県公立入試 類似）
1. 20世紀 2. 17世紀 3. 18世紀 4. 19世紀
- 問8 明治初期の地方統治に関する次の記述のうち、廃藩置県の説明として正しいものはどれですか。 （2024年 富山県公立入試 類似）
1. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、近代的な軍隊を組織した。 2. 大名が土地と人民を天皇に返還し、自らは知藩事として旧領地を治めた。 3. 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。 4. 土地の価格を基準に、地主に対して現金で税を納めさせる制度を確立した。
- 問9 明治政府が行った地租改正について説明した文として、江戸時代の年貢の仕組み（収穫高を基準とし、現物で納める方式）と比較して正しいものはどれですか。 （2019年 香川県公立入試 類似）
1. 土地の価格である地価を基準とし、地主が税を現金で納めるようにした。 2. 村ごとの予想収穫量を基準とし、村全体でまとめて米を納めるようにした。 3. 個人の所有する資産総額を基準とし、身分に応じて金銭を納めるようにした。 4. 土地の面積を基準とし、その土地で採れた作物の3%を現物で納めるようにした。
- 問10 江戸幕府が倒れたあと、明治政府は「明治維新」と呼ばれる大規模な改革を推し進めました。政府がこのような急速な日本の近代化を必要とした背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 （2017年 沖縄県公立入試 類似）
1. 鎖国体制をより強固なものにし、外国の影響を排除した独自の文化を守るため 2. 武士が中心となる身分制度を再編し、江戸幕府の支配体制を復活させるため 3. 欧米列強の進出に対抗できる国力を備え、日本の独立を維持するため 4. 地方の諸藩が持つ自治権を強化し、それぞれの地域が独立して政治を行うため
- 問11 1879年に明治政府が軍隊を派遣し、琉球藩を廃止して沖縄県を設置した背景や目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 （2021年 沖縄県公立入試 類似）
1. 清との宗属関係を断ち切り、日本の領土であることを国内外に明確に示すため 2. 鹿児島県の一部であった琉球を分離させ、住民の自治権を拡大するため 3. 琉球王国による独自の貿易を奨励し、アジア全体との経済交流を深めるため 4. 欧米列強の進出を防ぐため、琉球を日本から独立した中立地帯にするため
- 問12 明治政府が、衣食住の西洋化をはじめとする文明開化を推進した背景には、どのような政治的な目的がありましたか。 （2017年 滋賀県公立入試 類似）
1. 日本が近代的な文明国であることを欧米に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため 2. 海外からの輸入品を制限し、国内の伝統的な絹織物産業を保護するため 3. 封建的な身分制度を維持するために、武士と平民の生活様式を明確に区別するため 4. 江戸時代から続く伝統的な仏教勢力を排除し、キリスト教を国教化するため
- 問13 「王政復古の大号令」の宣言によって政治的立場を失うことに不満を持った旧幕府勢力が、新政府軍と武力衝突するに至った歴史的背景を持つ出来事はどれですか。 （2021年 佐賀県公立入試 類似）
1. 甲午農民戦争 2. 下関戦争 3. 西南戦争 4. 戊辰戦争
- 問14 明治政府が「文明開化」という社会現象を後押しし、急速な西洋化を進めた大きな目的は何ですか。 （2026年 栃木県公立入試 類似）
1. 日本が近代国家になったことを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。 2. 江戸時代の伝統文化を完全に消し去り、天皇の権威を否定するため。 3. 隣接するアジア諸国との友好関係を深め、東アジア共通の文化圏を創るため。 4. 農業を国の中心産業に据え、農民の生活を安定させて一揆を防ぐため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 地券	明治政府は、それまでの不安定な年貢制度に代わり、土地の所有者に地価の3%（後に2.5%）を現金で納めさせる地租改正を行いました。このとき、土地の所有権を法的に証明し、納税の義務を明確にするために「地券」が発行されました。これにより、土地は個人の財産として自由に売買や担保にすることが可能になりました。
問2	答え 4 X：会議、Y：公論	五箇条の御誓文は、明治維新の基本方針を定めた史料です。第一条の「会議」と「公論」という言葉は、身分や特定の藩にこだわらず、広く有能な人材の意見を聞いて政治を行うことを約束したもので、のちの自由民権運動において「国会を開設せよ」と主張する際の根拠としても引用されました。
問3	答え 4 征韓論	明治初期、新政府の内部では朝鮮への対応を巡る議論が活発化しました。西郷隆盛や板垣退助らは、武力行使を辞さない構えで開国を求める「征韓論」を主張しましたが、岩倉使節団として欧米を視察し、内政の充実が急務であると痛感した大久保利通らと激しく対立することとなりました。
問4	答え 3 主張が認められなかった西郷隆盛や板垣退助らが政府を去り、のちの不平士族の反乱や自由民権運動へとつながった。	征韓論をめぐる論争に敗れた西郷隆盛や板垣退助らは、明治六年の政変によって政府を去りました。西郷はのちに士族による最大級の反乱である西南戦争へ、板垣は民撰議院設立建白書を提出して自由民権運動へと向かうことになり、明治初期の政治に大きな転換点をもたらしました。
問5	答え 1 沖縄県	1879年、明治政府は琉球藩を廃止し、沖縄県を設置しました。これにより、かつての琉球王国は完全に日本の領土に組み込まれることになりました。鹿児島県は旧薩摩藩であり、江戸時代に琉球を実質的に支配していましたが、琉球処分で設置された県ではありません。
問6	答え 2 基準を収穫量から地価に変更し、納める方法を米から現金に改めた。	明治政府は、天候による豊作・不作に左右されない安定した税収を確保する必要がありました。そのため、収穫高に応じて米を納めるこれまでの仕組みを廃止し、土地の価値である「地価」を基準に、一定の割合を「現金」で納めさせる地租改正を行いました。
問7	答え 4 19世紀	西暦における世紀は、100年単位で区切られます。1801年から1900年までが19世紀に該当するため、1868年はその期間内に含まれます。一般的に西暦の年を100で割り、余りが出る場合は百の位以上の数に1を足すことで世紀を求めることができます。
問8	答え 3 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。	1869年の版籍奉還では旧藩主の統治権が形式的に天皇へ返されましたが、1871年の廃藩置県ではさらに踏み込んで藩そのものを廃止しました。これにより、全国が「府」と「県」に再編され、明治政府による統一的な統治が可能となりました。他の選択肢は、版籍奉還、地租改正、徴兵令に関する記述です。
問9	答え 1 土地の価格である地価を基準とし、地主が税を現金で納めるようにした。	江戸時代の年貢は、その年の収穫高（石高）を基準に米などの現物で納められていました。明治政府はこれを大きく改め、土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、土地の価格である「地価」を基準に、一定の税率（当初は3%）を「現金」で納めさせる制度を確立しました。
問10	答え 3 欧米列強の進出に対抗できる国力を備え、日本の独立を維持するため	19世紀、アジア諸国が欧米列強によって植民地化される状況に直面し、日本も同様の脅威を感じていました。そのため、新政府は「富国強兵」を掲げ、政治・経済・軍事の仕組みを西洋にならって近代化させることで、対等な国際的地位を築き、国家の独立を守ることを最大の目的としました。この過程で、幕藩体制は廃止（廃藩置県）され、四民平等による身分制の撤廃など、社会の仕組みが根本から作り直されました。
問11	答え 1 清との宗属関係を断ち切り、日本の領土であることを国内外に明確に示すため	当時の琉球は、日本（薩摩藩）と清（中国）の両方に属するような複雑な立場にありました。明治政府は近代的な主権国家として国境を確定させるため、琉球が清へ朝貢することなどを禁止し、日本の地方行政単位である「沖縄県」を設置することで、日本の主権が及ぶ範囲であることを国際的に宣言しようとしたしました。
問12	答え 1 日本が近代的な文明国であることを欧米に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため	当時の日本にとって、幕末に結ばれた不平等条約（領事裁判権の承認や関税自主権の欠如）の改正は最優先の外交課題でした。欧米諸国から「未開の国」と見なされている限り交渉は進まないと考えた明治政府は、生活習慣や制度を西洋化することで、日本が欧米に肩を並べる近代国家であることをアピールしようとしたしました。
問13	答え 4 戊辰戦争	大政奉還によって政権を返上したものの、依然として強い影響力を持とうとした徳川氏を排除しようとする新政府の動きに対し、旧幕府側が武力で抗議したことがきっかけです。この内戦を通じて新政府の権力が確立されました。
問14	答え 1 日本が近代国家になったことを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。	当時の日本にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は最大の外交課題でした。政府は、日本の制度や生活様式が欧米並みに近代化されていることを証明することで、対等な立場での条約交渉を目指しました。そのため、鹿鳴館（ろくめいかん）を建設して外国使節を接待するなど、形の上での西洋化も重視されました。